

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : チチブエースボンド
会社名 : 秩父コンクリート工業株式会社
住所 : 東京都台東区上野 7-7-6
担当部門 : 営業本部
電話 : 03-3844-5062
FAX : 03-3844-5087
緊急連絡先 : 品質保証部 048-521-2790
推奨用途 : セメントモルタル混和用
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	水生環境有害性 短期（急性）	区分 3

※上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	水生生物に有害
注意書き	
《安全対策》	環境への放出を避けること。
《応急措置》	なし
《保管》	凍結や高温は避け、5℃～35℃の屋内で保管すること。
《廃棄》	内容物／容器を、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。 残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。 残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : アクリル系共重合体エマルジョン
成分及び濃度又は濃度範囲

成分	含有量 (%)	化審法No.	CAS No.
アクリル共重合体	40～50	既存	非公開
ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル	1～5	既存	9002-92-0
メタクリル酸メチル	<0.2	既存	80-62-6
その他	0.0～1.0	既存	非公開
水	50～60	既存	—

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合 : 付着した衣服・靴を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄すること。
炎症が出た場合は、直ちに医師の診察を受けること。
眼に入った場合 : 清浄な水で 15 分以上洗眼し、眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診察を受けること。
無理に吐き出させないようにすること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂、強化液
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 火災時の特有の危険有害性 : データなし
 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火すること。
 延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却すること。
 消火作業は風上から行うこと。
- 消火活動を行う者の特別な : 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒
 保護具及び予防措置 : マスク等の保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 ・作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項
 ・河川、湖沼等に流入すると広範囲に渡り白濁させる。
 ・河川、湖沼等の公共水域への流入は絶対に避けること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 ・少量漏洩時は、布・紙ウエス・おが屑・砂等に吸収させて回収すること。
 ・大量漏洩時は、流路を毛布・土嚢・土塁等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げること。
 ・河川、湖沼等に流入した場合は必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡を取ること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 技術的対策 : データなし
 安全取扱注意事項 : 漏洩を防止すること。
 取扱いは、換気の良い場所で行うこと。
 スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか
 保護マスクを着用すること。
 眼・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋等の保護具
 を着用すること。
 水禁忌物質との接触を避けること。
- 衛生対策 : データなし
- 保管
 安全な保管条件 : 容器は密栓し、凍結・直射日光を避け、屋内で保管すること。
 貯蔵温度は5～35℃が好ましく、温度変化の大きい屋外は避けること。
 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。
- 安全な容器包装材料 : 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度等
 管理濃度 : 該当成分なし
 設備対策
 ・蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置等の排気のための装置を設置すること。
 ・作業場には洗眼器を設置すること。
- 保護具
 呼吸用保護具 : 状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
 防毒マスクは、日本産業規格(JIS T8152)に適合した、作業に適した
 性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されて
 いるデータを参考にする。
- 手の保護具 : 状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
 眼、顔面の保護具 : 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 水性液体
 色 : 乳白色
 臭い : ほとんどなし

融点/凝固点	: 約 0°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 約 100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 5.5~6.5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水と任意の割合で混合可能
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び ρ 又は相対密度	: 約 1.0
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱い条件では反応性はない。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 水禁忌物質との接触
混触危険物質	: 水禁忌物質
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
急性毒性（経皮）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
急性毒性（気体）	: 本製品は常温で液体のため分類対象外。
急性毒性（吸入；蒸気）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
急性毒性（吸入；粉じん、ミスト）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: 混合物の皮膚腐食性区分 2 以上に該当する成分濃度は 1%未満。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	: 混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感作性	: 混合物の皮膚感作性データが不十分のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: 混合物の生殖細胞変異原性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満。
発がん性	: 混合物の発がん性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満。
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.3%未満。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）データが不十分のため、分類できない。
誤えん有害性	: 製品の 40°Cでの動粘性率が 20.5 mPa/s 以上のため、分類対象外。
その他	: 刺激性（皮膚、眼）；皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。 蒸気を吸引すると、頭痛を起こす場合がある。 成分の急性毒性；メタクリル酸メチル LD50 7900mg/kg（ラット）

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 混合物の水生環境有害性 短期（急性）区分 3 に該当する成分濃度が 25%以上あるため、区分 3 に相当。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 混合物として GHS 判定上分類できない。
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

